

新たに企業誘致を 考えているのか

竹村 仁司議員



弥富ICから北上した土地

産業建設部長



▲本格稼働の近づく南河田工業団地

問 自治体として存続して

いくためには、稼ぐ力を成長させる必要がある。稼げる地方への足がかりとなるのが企業誘致だ。

答 弥富インター北西部周辺で企業誘致を検討していることだが、具体的な場所と計画、実施に向けての取り組みは。

弥富インターチェンジから0.8kmほど北上した付近の土地を検討。昨年度、県企業庁へ開発検討の相談を始めるため、

用地造成事業開発予備調査を実施。今年度は、この調査成果を活用しながら

企業庁と開発検討を始める。

問 弥富インターから国道155号線沿いには、大型の企業、物流センターがある。それぞれの企業の業種、敷地面積などは。

弥富インターチェンジから0.8kmほど北上した付近の土地を検討。昨年度、県企業庁へ開発検討の相談を始めるため、

取り扱っている。特に大きなものは約2.8haの敷地面積だ。

問 これらの企業が、市に対して納める税金の概算は、年間どのくらいになるのか。

155号線沿いの企業が支払う年間の固定資産税の合計は、約1億3500万円。内訳が、土地に係る税額は約2100万円、家屋に係る総額は約1億円、償却資産に係る税額は1400万円だ。

南河田工業団地の誘致には、工業団地に入る交差点の問題があった。既に建設が始まり、多くの大型重機の行き来は、深夜、あるいは早朝に行われたのか。交差点でのトラブルはなかったのか。

問 この工業団地に入る交差点は、企業庁からは、暫定的なものとして改善を求められているのか。

南河田工業団地周辺地域では、本格稼働を問近に控えている。交通量が集中する南河田交差点は、将来にわたって地域住民の道路交通安全対策を講じていくのが市の役割である。

市道12号線側の停止線を後退させることで大型車両等の通行に対応。

市道12号線側の停止線を後退させることで大型車両等の通行に対応。